

2022 年度小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 22 日作成)

小委員会名	フローティング建築小委員会	主 査 名：吉田郁夫 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築本委員会	委員長名：桜井慎一
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会では、国内外のフローティング建築の事例収集を行い、計画面及び技術面から浮体式建築の機能性、利便性、安全性を整理するとともに、設計ガイドラインや安全基準等を検討する。</p> <p>初年度（2022 年度）：国内外の事例収集 2 年度（2023 年度）：計画面及び技術面から見た機能性、利便性、安全性の整理 3 年度（2024 年度）：設計ガイドライン、安全基準等の検討 4 年度（2025 年度）：報告書作成</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：吉田郁夫（清水建設） 幹事：菅原遼（日本大学） 委員：居駒知樹（日本大学）、植木卓也（JFE スチール）、北嶋圭二（日本大学）、畔柳昭雄（日本大学）、小林昭男（日本大学）、高橋孝二（日本大学）、高橋武宏（一条住宅研究所）、増田光一（日本大学）、増田光弘（東京海洋大学）、宮崎渉（日本大学）、山田沙代（清水建設）、和木洋（H.R.D. SINGAPORE）（五十音順）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 国内のフローティング建築の関連法制度及び事例年表の作成 2. 「海洋建築物安全性評価指針」の適用事例の確認（日本建築センターへのヒアリング調査に基づく）
委員会活動の問題点・課題	1. 国内のフローティング建築の事業関係者（自治体及び事業者）へのヒアリング調査を通じた設置経緯、適用法制度、検討事項等の確認